

目次

今月のあじなもの	2
特集 伊予市トライアスロン大会inふたみ	4
しせいニュース	8
ほっとアングル	13
くらしインフォメーション	18
まなびランド	20
健康ガイド	22
日常を切り取る	24
きりり人 - 園部 香代子 さん	26
イベント情報、カレンダー	27
みんなのひろば	28



●表紙の紹介

7月21日、なかやま夏まつりのフィナーレを飾る「中山音頭サンバ踊り」。商店街周辺を練り歩き、最後は中山中学校グラウンドに全員集合して踊り比べをしました。どの連も迫力満点でした。

●問い合わせ

伊予市役所 ☎982-1111 (代)
〒799-3193 伊予市米湊820番地
中山地域事務所 ☎967-1111 (代)
〒791-3292 伊予市中山町出洲2番耕地138番地1
双海地域事務所 ☎986-1111 (代)
〒799-3292 伊予市双海町上灘甲5821番地6
ファックス ☎983-3681 (代)
ホームページ <http://www.city.iyo.lg.jp>
メール iyo-daihyo@city.iyo.lg.jp



今月のあじなもの

5代目漁師の朝



親子で漁に出る、大森光夫さん(写真左)と浩次さん(写真右)

伊予港の朝

早朝4時30分。また星が輝くころ、漁師や伊予漁業協同組合員、仲買人などが港に集まり始めます。

水揚げされた魚の種類や大きさで選り分け、約1時間後、競りが始まります。今の旬はエビとタチウオ。続々とはかりに載せられ、競りかけられます。仲買人が手で合図を出し、魚の値段が決まります。昔は2時間かかった競りも、漁獲量が半分以下に減ったという今では、20分程度。競りが終われば、また漁に出かけます。

5代目漁師

一度漁に出ると、帰るのは14時間後。魚は毎年同じコースを通るので、船の位置を確認しながら漁をします。昔は24時間漁に出たままということもありましたが、燃料代が上がってからは、短時間で回数を重ねます。今の季節はタチウオを捕りに山口県との県境へ、冬はマナガツオを捕りに九州との県境へ向かいます。18歳から漁師をしている大森浩次さん(写真右)は、小さいころから一緒に船に乗り、楽しそうに仕事をする父・光夫さん(写真左)の姿に憧れ、5代目として後を継ぎました。光夫さんが体調を崩して一緒に漁に出れなかったときは、「親父の漁獲量が最低ラインだ」とプレッシャーを感じたと言います。

「親父に学ぶことはまだあります。口数が多い人ではないので、ちょっとした衝突があるくらい。親父を越えたという感じは全然ないです」後を継いでほしいと口に出しては一度も言わなかった光夫さん。浩次さんが漁師になりたいと言ったときは嬉しかったですがと尋ねると、言葉ではなく、満面の笑顔が返ってきました。